

AKIKO SUZUKI



すずき・あきこ ●昭和56年1月生まれ。赤坂西野字大塩在住。主婦。趣味はもの作り。好きな言葉は「明けぬ夜はない」

結婚を機に鮫川村に来て七年目の今年、双子を出産して一気に五人家族になりました。初めての双子で分らないこともたくさん。出産まで不安や心配の気持ちが大きく、嫌な思いをすることもありましたが、そんな中、毎日電話をくれて何でも話を聞いてくれた母が大きな支えになり、三十八週で二八六六の女の子、三三四四の男の子を無事に出産しました。双子の育児という大変なイメージがあると思いますが、楽しくて面白いんです。大変なのは二倍、だけど楽しさやうれしさは四倍になる。たまたま思えるのもたくさんの手助けがあるからだと思います。そして、育てられる所にしか双子は授けられないという意欲も実感しています。家族は、嫌

### 村民【随想】リレー — ⑬③ 鈴木亜希子さん

#### わたしの今

な顔ひとつせず毎日一緒に双子の世話をしてくれます。家族ぐるみで仲のいい友人は、息抜きをしようとして誘ってくれます。また、「手・まめ・館」に行くとき笑顔で手を貸してくれ、「頑張りなさい」と声をかけてくれます。そのおかげで自分の時間が持て、気持ちに余裕ができた頑張りやと気が合いました。入った、かけられた言葉が励みになり自信につながっています。双子を授けられなければわからなかった気持ちだと思っています。私は今、この環境で生活できる毎日が楽しくて最高に幸せです。たくさん人の手助けで今があること、心から感謝しています。

次は、関根巨樹さん(西山字水口)にバトンタッチ!

### さめがわを 彩る集い 16

## 楽しみながら地域や自分のために健康づくり



### ビーンズヘルスの会

青戸良一会長/会員50名

村健康運動サポーター・ビーンズヘルスの会は、健康運動を通して村民の体力づくり、健康づくりを手助けすることを目的に活動しています。会員自らが村の健康運動サポーターの講座を受けて知識や技術を身に付け、高齢者を対象とした運動教室の開催やサロンの手伝いなど、主に地区ごとに取り組んでいます。人に教えることの難しさを感じながらも、うまく伝えられたときには喜びを感じるといいます。また、会員も参加者と一緒に運動や歌、踊りなどを楽しむことで交流を深めたり、参加者が「楽しい」と笑顔になってくれることが会員のやりがいになっています。参加者や地域のためだけでなく、会員自身の健康づくりにもつながっています。

## Book

### 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します  
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

#### 天翔る

(村山由佳著、講談社)

北海道を舞台に11歳の少女と馬と大人たちが織りなす祈りと希望の物語。「エンデュランス」という乗馬耐久レース。何十ものコースを一人で一頭の馬と走り抜け、馬は完走後も元気でいなければならないという過酷な競技に挑んでいく。

#### 新・13歳のハローワーク

(村上龍著、幻冬舎)

自分の「好き」なことに基準をおき、職業を考えてみる一冊。国語が好き、道徳の時間は眠くならない、休み時間、学校行事が好きなどの項目から514の職業が紹介されている。何にも興味がないとがっかりした子のための特別編もある。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

### 俳句

原登のへりが近づく九月かな  
中井 恒峯  
豊年に心がはずむ盆踊り  
小松ハル工  
息絶える蝉はあの世へ足を向け  
黒田 寿香  
床の間に一輪だけの秋海棠  
山本 恵子  
秋立つも猛暑続きはおさまらず  
松本 精一  
大根の芽生い傾き修正す  
北條素人坂  
コオロギを追いつめ訪ねる出生地  
斎須 信子  
秋立ちぬどうにもならぬ汚染水  
鈴木 米子  
禁猟区花そばゆらず稚親子  
前田 縫子  
骨砕く引導の証法師蟬  
土竜 庵  
汚染水漏れきすけあんめが秋刀魚だの  
山本五十鈴

### 短歌

何という国の損失 高校生の体罰に遠く 命と知れば  
鈴木イミ子  
国家という組織無視して憲法の改正もせぬ現代のエゴは  
前田 初  
お七夜を迎えし曾孫に赤飯を炊いて祈りぬ未来の成長を  
佐藤 春枝  
あめつちの恵みに育つ作物の感謝の涙か 朝露光る  
矢吹 定子  
やや萎えて水の下足もあからさま口程に物云う花の色かも  
須藤 幸子  
鬼ヤンマ飛び交う朝の家の窓 今日も耕す支度を急ぐ  
水野 珠子

鍛えられ研がれていたり姑の厳しきものの今更にして  
関根 瑞恵  
この里に嫁きて幾年過ぎるやら常に新し田畑の息吹き  
清井 清乃  
読み取れば自然の教えも限りなし野菜は育つ 心映して  
坂本 伊紀  
何かあるわれに足らざる訓えもと思案に見れば朝の窓明かり  
一平 子  
迎い火を焚けば仄かな煙のぼり御霊の顔ぬお盆の夕べ  
石井 幸子  
新盆の巡る身内に新たな涙の供養思い惚びつ  
須藤シツエ  
語らば老いの愚言か領ける悟りを聞く域にはあらねど  
松本 一郎  
異常なる気象にも負けず実りたる稲穂に送る感謝の心  
前田喜三子  
暑い夏昼時なれば冷奴箸に浮べて一人涼みぬ  
関根ヨネ子  
夕すずみうちわ片手に星空を見上げる頬を風が過ぎゆく  
藤田千代子  
夏休み白河駅に一人来るリックを背負い手を振る曾孫  
関根ハナヨ  
盆供養家族とともに夫の墓碑水かけ花添え安らぎ祈る  
関根 富久  
京都大交響曲の演奏に聴衆感激感謝の拍手  
板橋 源良  
男の孫のつくりし昼餉うまかりき冷やし中華のキュウリ太し  
関根キヌ子  
記録には限界と未知数の名言も猛暑の列島四十度を越す  
矢吹 一二  
京都大交響楽団来村し復興支援の演奏に湧く  
北條 平

若者の広場 No.106

# Young Plaza

## 松本克樹さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

小学生からやっている野球です。今は地元の野球チームに入っていて、市町村対抗軟式野球大会にも出ています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

周りでスノーボードをやっている友達が多いので、今年から始めたいと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

村の人はみんないい人だ

と思います。地元の青年会や野球チーム、消防団に入っていますが、よくしてくれます。青年会などに入って、今まで関わりがなかった人たちと知り合えたことがよかったです。

■鮫川村に要望などはありますか？

特に思いつかないです。鮫川村が嫌だと思ってもないし、車さえあれば買い物などにも簡単に行けるので不便に感じることもありません。

次は、塩田貴史さん(石井草字森ノ前在住)の予定です。

### 村の人はみんないい人



まつもと・かつき  
平成3年5月14日生まれ 22歳  
B型 おうし座  
趣味は野球  
赤坂西野字上在住



上: 駅伝大会/下: 音楽祭

女子総合 第五位  
目黒 司(三年)

男子総合 第一位  
※県大会出場  
区間賞(一区)

【東西しらかわ中学校駅伝競走大会】

須藤 悠太(二年)

※全国大会出場

男子B走幅跳 第一位

【小中音楽祭東白川地区大会】

優秀賞 鮫川中学校

【県ジュニア陸上競技選手権大会】

青戸 悠之介(三年)

創作の部 第六位

【東西しらかわ英語弁論大会】

創作者の部 第六位

2学期も大活躍!

# 学校だより

(108)

鮫川中学校編

### 学び多き、体験学習

九月十、十一日の二日間、総合の体験学習を行いました。

■一学年 自然散策等

一日目は、班別活動で鮫川太鼓、ひだまり荘訪問。二日目は、朝日山登山や江竜田の滝など鮫川の自然散策を行いました。



朝日山登山

■二学年 職場体験

手始めに消防署、美容室など、村内八カ所で職場体験を行いました。



職場体験

■三学年 福祉体験

たんぼぼの家でうどん作りや農作業などを体験しました。活動を通して障がいについて学びました。



福祉体験

(文・写真/鮫川中学校)

写真左から、高田さん(B/Co)、小瀬さん(G/Vo)、中川西さん(G/Vo)

七十年、八十年代のフォークソングを完全コピーで演奏するバンド「案山子」村内に留まらず、県内各地のイベントで年十回以上の演奏を行っています。

平成十四年に結成したバンドは、サイドギターの小瀬慎一さん、リードギターの中川西宏幸さん、ベースの高田三喜雄さんの三人。音楽好き同士の集まり、「どうせやるなら人前で」という思いから結成しました。

フォークグループ「阿呆鳥」の元メンバー・菊池章夫さんとの出会いから各地のイベントに招待されたりアドバイスをもらったりと、演奏経験を重ねてきました。「青春時代の懐かしい曲が聞ける」と、五十から六十歳代の人たちが特に喜んでくれるといます。お客さんが一緒に口ずさんでくれたり手拍子をしてくれたり、反応を見られることが楽しみであり、自信につながっています。



## むらの名人・達人 Vol.15

### フォークソング 案山子

かし/小瀬慎一・中川西宏幸・高田三喜雄/平成14年結成

お客さんの反応が自信に  
まずは自分たちが楽しむこと



お客さんからは「楽しそうに仲良くやっているのがいい」と言われるそうです。